

# 平成 28 年度第 8 回理事会議事録

日 時：平成 29 年 2 月 19 日(日) 14:45～16:00

場 所：パレットとっとり 2 階 市民交流ホール

出席者：植嶋、湯田、岡田、原、野上、国政、中井

下廣、那須野、河上、佐々木(豪)、片岡、山岡

欠席者：木下、西村、藤原、先灘、佐々木(崇)、北野

議 長：植嶋

記 録：河上

議事録署名人：中井、佐々木(豪)

## 議 事

### 議題 1 平成 29 年度事業計画について

#### ① 学術部

原学術部長より、学術部門事業計画に追加があり、学術部の予算額は約 225 万円となったことが報告された。

#### ② 渉外調査部

那須野渉外調査部長より、渉外調査部の事業計画案が示された。

- ・情報交換会（賀詞交歓会）：2018 年 1 月に東部地区予定
- ・米子市健康展：2017 年 10 月 14 日
- ・鳥取市健康展：2017 年 11 月 19 日
- ・全国検査と健康展：2017 年 10 月又は 11 月、鳥取市バードスタジアム（予定）  
中四国学会が 11 月開催であり、11 月開催はスケジュール的に厳しい。

日臨技は 10 月開催でも良い、とのことであり 10 月開催が望ましい、との意見があった。

会場が屋外になると思われるため、内容については今後検討が必要。

#### ③ 平成 29・30 年度学術部委員について

原学術部長より、提案された。

- ・現時点で、精度管理委員が足りない状況にあり、理事がいる施設から選出されている方を学術委員から精度管理委員に移って頂くようお願いしたい。
- ・少人数施設グループと、割当人数の案の提示。

会員数 4 名に 1 名の割合で学術委員に出してもらおうよう各施設あてにわかり易い依頼文書を出したのち、理事が各施設にあたっていく事とした。

担当する施設の割当は会長・副会長が行うこととなった。

#### ④検査説明の出来る検査技師育成講習会

湯田副会長より、今年度開催分について報告があった。

- ・地震の影響で3名の方のキャンセルがあったため、参加人数は18名だった。
- ・3年間で各県技師会会員の10%の目標値に対し、鳥臨技会員の21%に相当する68名の受講者となった。
- ・来年度以降、日臨技主導で更に一步進めた内容の研修会を実施していくことになる予定である。

#### 議題2 日臨技 臨床検査技師のための認知症対応力向上講習会事業について

- ・4月に米子市で日臨技が開催する講習会Aについて鳥取県内で受講希望のあった3名は全員受講できそうである。
- ・講習会A受講者が各県技師会で開催される講習会Bの中心的役割を担っていくことになる。
- ・講習会A終了後、早い段階で講習会Bを開催する必要がある。

#### 議題3 平成29・30年度役員選挙について

選挙の案内文書がFAXで送られたと思う。

各理事には、協力をお願いしたい。

#### 議題4 その他

##### ①中四国学会

シンポジストやハンズオンセミナーの講師の出席依頼が来ている。

微生物部門：シンポジスト（済生会境港総合病院）

生理部門：ハンズオンセミナー（鳥大医学部附属病院）

生化学部門：シンポジスト（選定中）

##### ②渉外部門員について

渉外調査部も部門員が必要と考えるが、現時点で必要人数がわからない。

→仕事量を積算して希望する人数を確定して欲しい。

##### ③研修会参加費について

本年度、研修会参加費が使われていない。アピールが足りなかったのではないかと、と思われる。3月開催される日臨技主催 輸血テクニカルセミナー2017に鳥大検査部の小島技師が出席するので、来年度開催予定の研修会で伝達講習することを条件として、派遣することとした。

次回理事会:3 月中に開催

以上をもって議事を全て終了し、16 時 00 分に閉会した。

この議事が正確であることを証するため、議長および議事録署名人は次に署名、捺印する。

平成 29 年 2 月 19 日

議 長 植嶋 輝久 ⑩

監 事 山岡 貴子 ⑩

監 事 \_\_\_\_\_ ⑩

議事録署名人 中井 宏衛 ⑩

議事録署名人 佐々木 豪 ⑩